



< 競技の条件 >

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則及び本大会ローカルルールを適用する。

2. 使用球

競技者の使用球はR & A発行の公認球リスト（JGAホームページ：www.jga.or.jp）に記載されているものでなければならない。この条件の違反の罰は、競技失格。

本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。

3. 使用クラブ

R&A/USGAのテスト基準を超えるスプリング効果を持つドライビングクラブ(所謂「高反発クラブ」)はJGAルールの変更に伴い使用不可とする。

4. ホールとホールの間での練習禁止

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで2打の罰を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、そのホールで罰を受ける。 指定練習グリーンを除く

5. プレーの一時中止と再開

(1) プレーの一時中止（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則6-8b,c,dに従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときには、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。（ゴルフ規則6-8b注）

(3) プレーの一時中止と再開の合図について

中止、再開の合図はゴルフ場によって異なるので、険悪な状況になった場合はゴルフ場からの案内に注意すること。

6. 移動

各競技者は正規のラウンド中、大会ローカルルールで認めた場合を除き、常に歩いてラウンドしなければならない。この条件の違反の罰は違反のあった各ホールに対し2打。ただし、1ラウンドにつき最高4打までとする。ホールとホールの間で違反があったときは、罰は次のホールに適用する。

7. 険悪な気象条件のため競技が中止になった場合

競技中止の時点で9ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。なお、9ホールでの競技成立の場合は、アウトスタート・インスタート各々の最少スコアチームを上位とする。タイスコアが発生した場合は、アウトスタートは9番、インスタートは18番からのカウントバックにより上位を決定する。

8. タイスコアの場合

チームのスコアがタイとなった場合、アウト・インどちらのスタートにかかわらず、18番ホールからのカウントバックにより上位を決定する。ただし、決勝大会および日本一決定戦は優勝チーム決定時のみ競技委員長の指定するホールを使用してのプレーオフ（サドンデス方式）によってチャンピオンを決

定する。

指定時間内に指定ホールのティグラウンドに来ない場合は、プレーオフの資格を失う。

9. チーム内の1人が棄権した場合

プレーの途中でチームを構成する1人が不慮の事故や病気等によって棄権した場合、9ホールを消化していれば残りの1人のスコアを採用することで正式記録とする。9ホールを消化していない場合、そのチームのスコアは参考記録となる（1人でプレー続行しても構わない）。

10. 競技終了時点

本選手権は、競技委員による成績発表がなされた時点で終了したものとみなす。

< 競技方法 >

- ・ 2人1組のチーム戦とし、18ホールズフォアボールストロークプレーによって行う。
- ・ それぞれが各自の球をプレーし、2人のうちどちらか少ない方のスコアをそのホールのスコアとする（パートナーの1人が1ホールのプレーを終えなくても罰はない）。チームのスコアが確定した時点で、パートナーのボールはピックアップすること。
- ・ ティショットはスタートホールにおいてはドロースタックの順番とする。次のホール以降はチームスコアの良いチームがオナー権を持ち、チーム内であれば、任意の打順でプレーすることができる。ただし、2打目以降は原則とし遠球先打でプレーをする。遠球先打の例外として、グリーン上においては戦略上、必ずしも遠いボールからパッシングしなくてもよい（例：カップに近いパーパットと遠いバーディパットが残った状況で、パーパットを先に決めてから、バーディパットを打ってもかまわない）。
- ・ プレーヤーは同じチーム内のパートナーおよびキャディからアドバイスを受けることができる。なお、他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、あるいはアドバイスを求めた場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2打の罰を付加する。
- ・ 故意に違う方向に打つなど、故意にパートナーの援助をするプレーをした場合はそのホール2打の罰を付加する（フェアプレーの精神）。
- ・ 処置について疑問のある場合や、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について自信がない場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーして、そのホールを終えることができる。第2の球を打つ行動を起こす前に、競技者は（イ）規則3-3を援用すること（ロ）規則上許されればどちらの球をカウントしたいかの2点をマーカーに前もって知らせなければならない。どちらの球のスコアも同じであった場合も含め、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。

競技者がそれをしなかった場合、競技失格となる。

第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員長の裁定をあおぐこと。

< ローカルルール >

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭又は、白線をもってその限界を標示する。
3. ウォーターハザードは大会ローカルルールで指定する場合を除き、黄杭又は黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭又は赤線をもってその境界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路とみなす。
6. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカー

ト道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則 2 4-2 b (i) を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2 打。

- 7 . 使用禁止の表示のある予備グリーン (カラーを含む) はプレー禁止の修理地 (スルー・ザ・グリーン) とし、その上に球があつたりスタンスがかかる場合、競技者は 2 5-1 b (i) を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2 打。
- 8 . 樹木保護のための巻き網は樹木の一部とみなすが、球がその巻き網に挟まって止まった場合は、罰なしにその直下の地点から 1 クラブレンジス以内で、且つホールに近づかない個所に球をドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は、2 打。
- 9 . グリーン上に球がある時はパター以外のクラブの使用を禁ずる。但しパターが破損し使用不可能な時はその限りではない。
- 1 0 . スルー・ザ・グリーン (砂地の場所を除く) のどこでも、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴 (ピッチマーク) にくいこんでいるときは、その球は罰なしに拾いあげて、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた地点にできるだけ近い個所にドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。
- 1 1 . 固定スプリンクラーヘッドはすべて動かさない障害物であり、これらのものによる障害からの救済はゴルフ規則 2 4-2 によりうけることができる。その他にも球がグリーンから外れてはいるがハザード内でないところにある場合で、そのような障害物 (スプリンクラーヘッド) がグリーン上にある時、またはグリーンから 2 クラブレンジス、球からも 2 クラブレンジスの範囲内にあり、しかも球とホールを結ぶプレーの線上に介在している時は競技者は次のような救済を受けることができる。a) ホールに近づかずに、b) そのような障害を避けられる、c) ハザード内でもグリーンでもない場所で、球のあつた箇所に最も近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球は拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は、2 打。

< 賞典 >

- ・ 予選参加チームには参加賞を贈呈する。
- ・ 各予選 1 位通過チームにメダリスト賞を (各決勝開催時に) 贈呈する。
- ・ 地区決勝進出チームにはクオリファイ賞 (全日本大会進出チームには、ファイナルクオリファイ賞) を、各決勝大会上位 3 位までのチームには副賞を贈呈する。
- ・ 各決勝大会上位 3 位までのチームには翌年度地区決勝大会へのシード権を、全日本大会上位 3 位までのチームには翌年度全日本大会のシード権を与え、優勝チームが翌々年度全日本大会のシード権を獲得できなかった場合は、該当地区決勝大会のシード権を 1 年のみ与える (メンバー変更の場合は無効) 。
- ・ 各決勝大会に優勝したチームには日本一決定戦出場時の宿泊券とプレー券 (練習日 / 当日) を副賞として授与する。
- ・ 日本一決定戦上位 5 位までのチームには副賞を贈呈する。

< 注意事項 >

ゴルフ場ごとに競技の条件やローカルルールに追加・変更がある場合は、当日、大会掲示板又はスタートホールの机上に掲示して告示する。

大会受付のチェックイン登録は、遅くともスタート 5 0 分前には必ず済ませ、スタート 5 分前には必ずティグラウンド側にて待機すること。スタート時刻に遅れた場合にはペナルティを課すか、または失格というケースもありうる。スタート説明を受けずにスタートすることはできない。

スタート前の練習は練習場において備付けの球を使用し、1 人 1 箱とする。

グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

本競技は大会指定ティマークを使用する（1・10番のみ大会特別ティマークを併用）。特設ティは使用しないものとする。

予選において登録選手2名のうち、1名の変更は認めるが、出場資格を遵守したものでなければならぬ（スタート40分前までに登録し直すこととする）。また予選通過以降は変更できない。

チームを構成した1人が当日欠席した場合、その残された1人はドロウの同伴競技者としてメーカーをつとめるケースがある（その残された1人はメーカーを兼ねた参考記録の選手として出場できる）。また、メーカーをつとめるプレーヤーが欠席の場合、事務局からメーカーがでる場合がある。

ドロウは諸般の事情により当日変更もありうる。なお、ペアリング（ドロウ）は事務局が決定する。

プレー中はマナーを遵守するとともに、スロープレーは厳禁とする。前組との間隔を1ホール以上空けることのないよう注意すること。1ホール以上空いた場合、ペナルティを課すことがある。

ハーフラウンドを原則2時間20分とし、2時間50分を超えた場合にはペナルティを課すことがある。

OBまたはロストボールの可能性のある場合には、必ず暫定球の処置を行うこと。

ショートホールで後続組がティグラウンドに到着しており、同伴のプレーヤーの全員がグリーンオンしている場合は、球をマークして取り除き、後続組に打たせること。

コース内に携帯電話の持ち込みをしないこと。

キャディはゴルフ場で配属するものを使用し、他からの帯同キャディは認められない。

ギャラリー（応援者）はコース内に立ち入ることができない。

エントリーフィ入金後は、いかなる理由でも返金できません。また、参加会場の変更もできません。

最終的な参加会場等の決定は事務局に一任させていただきます。

他のブロックへの参加も可能ですが、同ブロック予選内での重複出場はできません。

主催者の責に帰すべき事由によるもの以外に、大会中に発生した傷害、事故等については一切責任を負いません。

日本国刑法に問われている者或いは暴力団に関係する者及びこれらに準ずると判断される者は、本競技の参加を認めません。

本競技の品位を損なう行為があった場合は、プレー中であっても即刻、競技への参加を取り消します。

参加者の顔写真および氏名等を使用する権利は大会事務局に帰属させていただきます。

お申込みされた方の個人情報には大会に関するご連絡に利用させていただく他、ゴルフダイジェスト社よりイベント・出版物・販売物等の資料送付に利用させていただくことがあります。ご希望されない方はご連絡をお願いします。

お申込みされた方の個人情報はゴルフダイジェスト社が責任を持って管理し、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません（法令などにより開示を求められた場合は除く）。

<その他>

最終結果は競技終了後、大会掲示板に掲示する（結果は弊社ホームページでも確認可能）。

予選通過枠については会場にて発表する（比例配分）。

日本一決定戦は各大会決勝において入賞した80チームによって競う。

大会に関する問合せ・キャンセルの連絡先

全日本ダブルスゴルフ選手権大会事務局

競技関連問い合わせ先 電話：03-3518-8580（平日 10:00～18:00）